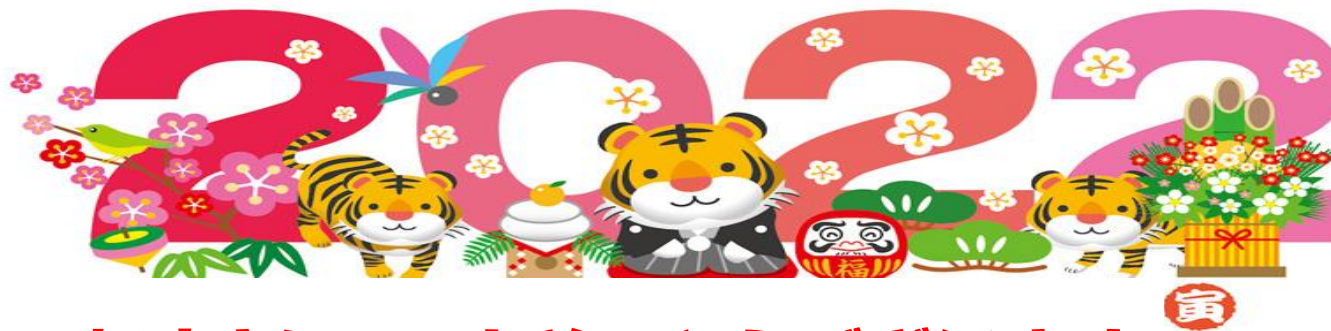


# 新田だより 1月

豊中市立新田小学校

R4(2022).1.11



**あけまして おめでとうございます**

皆様、良いお年をお迎えのことと存じます。

去年は、保護者の皆様、地域の皆様には様々な場面でお世話になりありがとうございました。

本年も「チーム新田」を合言葉に、教職員が一丸となりESD（SDGs）教育活動に当たってまいります。

三学期は、一年で最も短く、一月は行く、二月は逃げる、三月は去る、というようにあわただしく過ぎていきます。中でも六年生は、卒業まで47日しかありません。新田小学校での生活が充実したものとなりますよう、一日一日を大切にさせ、指導や支援に努めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

# 寅、千里を走る 今年の干支は「寅」

虎は、「千里往って千里還る」といわれ、たった一日のあいだに、千里（4000キロ）も先まで走って行って、また同じ距離を走って戻って来られるほど、優れた身体能力と行動力をもっていると考えられており、中国では獣のなかの王者とも言われているそうです。

そこから、人やものごとの勢いがさかんな様子のとえとして、この言葉が使われるようになったようです。

令和4年（2022年）の寅年はどのような年になるのでしょうか。

私たち一人一人は勿論のこと、世界の人々の笑顔が輝くような、そんな一年になってほしいと切に願っています。

「千里の道も一歩から」、ステップb yステップ、夢に向かってがんばっていきましょう。

## ESD 防災その時のために！

**1月13日（木）～19日（水）防災週間**

今年度で6年目を迎える防災週間、4年前の6月、子どもたちの登校時を襲った大阪北部地震。高い確率で起こるだろうといわれている「南海地震」等に備え、防災の大切さや地震に関する知識を学ぶ機会として位置付け実施しています。

恒例となっています京都大学防災研究所の後藤先生（本校卒業生）をお招きし、17日（月）全校朝会時には大阪北部地震のことや「未来の扉」にある地震計についてお話を聞きます。

また、六年生を対象に、理科で「震度とマグニチュード」について特別授業を行っていただきます。

学んだことを、「自分事」として捉え、より良い社会へとつないでいきたいです。

## ESD博物館

ESDウィークを設け ESD（SDGs）学習の一年間の  
まとめを発表します。

☞ 期 間 2月15日（火）～2月17日（木）

☞ 内 容 作品、プレゼンテーション、コーナーセッション等で発表



ユネスコスクールに加盟し12年、この間ESD教育の推進校としての取組みを進めてまいりました。

新田版学びの4本柱（知ることを学ぶ・なすことを学ぶ・共に生きることを学ぶ・人として生きることを学ぶ）に基づきSDGsと教科学習等を連動させた教育活動を展開しています。

ESDでつきたい力を

- ① ESDメガネで学び方を習得する
- ② 自分で考え行動する（企画力・プレゼン力）
- ③ コミュニケーション力（共生力・他者と協力する）
- ④ 学び続ける力を育む（目標と学習の振り返り活動）

にしぼり、新田版学びの4本柱の具現化を図っています。

ESD博物館は、本来「ESDフェスタ」として、保護者、地域の皆様をお迎えし開催するイベントなのですが、コロナの影響により、昨年同様、「ESD博物館」に変更し、一年間の教育活動の総括として、学年ごとに実践してきたESD（SDGs）の学習成果を発表いたします。

ESDウィーク期間にはご来校頂き、ESD博物館で子どもたちのESDの学びをご覧いただきたいと思います。

## 重要無形民俗文化財

**“とんど祭”の継承を願って！**

例年一月中旬に行われる天神社の伝統行事「とんど祭」が新型コロナウイルス感染拡大防止によって中止になり二年が経過しようとしています。

上新田地区が開かれ395年、時代を生きた人々により大切に受け継がれ守られてきた「とんど祭」、まさに地域の誇りです。約9mを超える「とんど櫓」に御神火が点火され、暗闇のなかに燃え上がるとんどの炎が、幽玄な世界へと誘います。

本校も地域の学校として、子どもたちが書いた習字を奉納してきました。

地域の人々によって守り繋いでこられた「とんど祭」、再び復活する日を願っています。





# 長縄大会 2月7日(月)から2月10日(木)

児童会活動の一環で、学級対抗「長縄大会」を計画しています。体育の時間は勿論、休憩時間を活用しながら練習が始まります。コロナ禍ですが、対策をとりながら行っていきます。

## 新型コロナウイルス第六波に注意！

今一度感染対策を徹底し、皆で乗り越えましょう

1月8日現在見聞きしていることですが、沖縄県や山口県、広島県の一部の地域で、オミクロン株の感染拡大に伴って、9日から蔓延防止対策が講じられることになりました。この変異株の詳細はまだわかりませんが、正月明けの感染者数や小学生にも感染が広がっていること等に強い危機感を持っています。

子どもたちの感染を防止するためには、まず、私たち教職員が、三密を避ける行動をとると共に、正しいマスクの着用や丁寧な手指消毒、日常の健康観察を徹底しなければならないと考えています。そのうえで全ての教育活動において、三密を避け、これまで言われてきた基本的な感染防止対策を徹底してまいります。

万が一、お子様の体調が悪い時は、無理をさせないでください。

今後共、感染防止対策に万全を期しますが、何かお気づきのことがあれば遠慮なくご連絡ください。